

せう

せう(音)名(哨) 哨、けはじかへ、きつたてたる  
かへ、けけ(陰崖断岸の類をいふ)  
せう(音)名(小便) 尿、ゆぼり、人尿、人渡(前段より出る水)こよう  
せう(音)名(少辨) 十官名、左右に分る、所の司  
那(同)

せうか

(天子の)  
せうかう(名) 燒酎、からさけ、火酒、アルコール  
せうぢやう(名) 消長、のびちぢみ、盛衰  
せうぢやう(名) 小狼、ほうわた、砂内の磁胎の名にて大腸に對す  
せうり 小吏、こやくにん  
せうり(音)名(備慮) ききもむ、しんはいする  
せうり(音)名(小陵島) こほら(動物)  
せうり(音)名(消流) みづはき(下木などの)  
せうり(音)名(消流) みづはき(下木などの)  
せうり(音)名(消流) みづはき(下木などの)  
せうり(音)名(消流) みづはき(下木などの)  
せうり(音)名(消流) みづはき(下木などの)

せうた

(一三七八)  
せうかつびやう(名) 消渴病、かわきのやまひ、痲腐(小便の過度に通じて身体衰ふる病なり上に同じ)  
せうかう 小康(世が少し治まるを謂ふ)、すこし  
せうかう(音)名(小巧) 大陰曆五月の異名  
せうかう(音)名(宵更) よよけ  
せうかう(音)名(焼香) かうをたく、焚香(佛前に)  
せうかう(音)名(消耗) ころ、なくなる、ころ  
せうかう(音)名(消耗) ころ、なくなる、ころ  
せうかう(音)名(消耗) ころ、なくなる、ころ  
せうかう(音)名(消耗) ころ、なくなる、ころ

せう

せう(音)名(昭代) 治れる世をいふ、太平之世  
せうた(音)名(招待) まね、こと  
せうた(音)名(小刀) こたぢ、り又こたぢ  
せうた(音)名(小胆) こたぢ、り又こたぢ  
せうた(音)名(小胆) こたぢ、り又こたぢ  
せうた(音)名(小胆) こたぢ、り又こたぢ  
せうた(音)名(小胆) こたぢ、り又こたぢ  
せうた(音)名(小胆) こたぢ、り又こたぢ  
せうた(音)名(小胆) こたぢ、り又こたぢ  
せうた(音)名(小胆) こたぢ、り又こたぢ  
せうた(音)名(小胆) こたぢ、り又こたぢ

せうた

せうた(音)名(小老) わかど(より)「わかどじよ」の下の見よ  
せうた(音)名(小老) わかど(より)「わかどじよ」の下の見よ  
せうた(音)名(小老) わかど(より)「わかどじよ」の下の見よ  
せうた(音)名(小老) わかど(より)「わかどじよ」の下の見よ  
せうた(音)名(小老) わかど(より)「わかどじよ」の下の見よ  
せうた(音)名(小老) わかど(より)「わかどじよ」の下の見よ  
せうた(音)名(小老) わかど(より)「わかどじよ」の下の見よ  
せうた(音)名(小老) わかど(より)「わかどじよ」の下の見よ  
せうた(音)名(小老) わかど(より)「わかどじよ」の下の見よ  
せうた(音)名(小老) わかど(より)「わかどじよ」の下の見よ  
せうた(音)名(小老) わかど(より)「わかどじよ」の下の見よ

せう

(一三七九)  
せう(音)名(消火) ひげしたま(出火の際)  
せう(音)名(消火) ひげしたま(出火の際)  
せう(音)名(消火) ひげしたま(出火の際)  
せう(音)名(消火) ひげしたま(出火の際)  
せう(音)名(消火) ひげしたま(出火の際)  
せう(音)名(消火) ひげしたま(出火の際)  
せう(音)名(消火) ひげしたま(出火の際)  
せう(音)名(消火) ひげしたま(出火の際)  
せう(音)名(消火) ひげしたま(出火の際)  
せう(音)名(消火) ひげしたま(出火の際)  
せう(音)名(消火) ひげしたま(出火の際)



胡椒

せう

**せうやく**(名) 椒藥、其腫成は其鼻已は其卵種庚は其蟻辛(は其鼻なり)  
**せうげん**(名) 韶言、のりこと、みこと(は其鼻なり)  
**せうふ**(名) 樵夫、まこり(山にて樹を伐る者)  
**せうふく**(名) 小腹、へらのした、こはら  
**せうふん**(名) 他、侷扮、いでたつ、みこしら(する役者が)  
**せうがん**(名) 他、小分、こわけする、したわけする  
**せうり**(名) 沼湖、ぬま、り  
**せうりや**(名) 小姑、ここうと(夫の妹をいふ)  
**せうろう**(名) 小功、漢土五服の第四にして再従伯叔父母姉兄弟のために服する五ヶ月の喪にして稍粗き熟布を用ふ  
**せうこん**(名) 招魂、たまきはひ(死者の靈魂を招くを謂ふ)、たまきつり  
**せうごん**(名) 招魂祭、たまきはひまつり、たまきつり  
**せうごんじや**(名) 招魂社(死者の靈魂を祭る社)  
**せうごん** 小籠、はじけ、こぶね  
**せうごん** 椒庭(皇后の居所)、後宮  
**せうごん** 餅條、ものごころ、ただやか、たまきつり  
**せうごん** 餅條、ものごころ、ただやか、たまきつり

**せうてん**(する)(自) 繕題、まきつ、まきつ、せうてん(小天地人は小天地、マイコロコト云ふなり云ふ、即大天地、マイコロコト云ふ)  
ち宇宙を此五尺の身を以て代表するを謂ふなり  
**せうさ**(名) 少佐(軍人の官にして中佐の下大尉の上の位)  
**せうさ**(名) 小妻、めかけ、妾  
**せうざ**(名) 猶子、ほんぼり、みみはらひ  
**せうざ**(する)(他) 繕殺、やまこつす  
**せうざ**(する)(自) 笑殺、わらひこつす、わらひなや  
(チチ)美人の如く  
**せうざ**(形副) 蕭颯、うらうらよ(風よく音に謂ふ)  
**せうざ**(する)(他) 鈔撮、抄撮、つまみとる、お  
**せうざ** 少吐、わかき、こわわき、おかん  
**せうざ**(名) 小遊、よあそび  
**せうざ**(する)(他) 抄掇、かすめとる、うばふ  
**せうざ**(名) 自儀、にがはにがはち(人の容貌をうつしたる者)  
**せうざ** 少録(古官名、正六位上に相當)  
**せうざ**(形) 蕭索、ものごころ、ただやか

**せうさん**(名) 確酸(硝石の酸化)  
**せうさん**(名) 小産、はんさん(臨月前に子を産むを謂ふ)  
**せうさん**(する)(自) 銷散、さえる、なくなる  
**せうさん**(名) 小蒜、こびる(植物)  
**せうさん**(名) 蕪衫、はせうふ、はせうころも(山間僻地の人等が着る者)  
**せうさん**(名) 小氣(心の狭きを謂ふ)  
**せうさん**(名) 照輝、てりかがやき、びかり  
**せうさん**(名) 箱筈、ゆがき、てる  
**せうさん**(する)(他) 焼燧、やきすてる、焼棄  
**せうさん**(する)(他) 抄記、かきおく、ぬきする  
**せうさん**(名) 稍筈(食か)  
**せうさん**(名) 小意、をみ  
**せうさん**(名) 小服、をみぢやうも  
**せうさん**(名) 鯖魚、くもたこ(動物)  
**せうさん**(名) 消極、陰極(電氣に云ふ所、陰電)  
**せうさん**(名) 鐵色箭の一種(植物)  
**せうさん**(名) 小臭、こじやうと(妻の弟なり)こじやうと(見よ)  
**せうさん**(する)(自) 消却、さえる、きやうせる  
**せうさん**(名) 小種花、ほんでんり(植物)  
**せうさん** 消痰劑、やちしやうり(痰術の藥)  
**せうさん** 少輔(官名にして一省の卿を輔佐す)

せう

**せうめい**(名) 昭命、みことりのり、たふせこと(天皇の命)  
**せうめい**(形) 昭明、あきらか、昌明、品明  
**せうめい**(名) 蠟、かきまりのこと(動物)  
**せうめい**(する)(自) 消滅、さへうせる、なくな  
**せうめん** 小民、こまかき、たまきつり  
**せうめい** 笑止、はじけ、はぢ、はぢ、はぢ  
**せうめい** 抄紙、かみす、紙紙、かみつり  
**せうめい** 簿子、ひらびら、がらち、たまけん  
**せうめい** 少子、こご、たまけん  
**せうめい** 照子、かがみ、鏡  
**せうめい** 焦頭、焦威、胸臍、さをもむ、さをもむ、さをもむ  
**せうめい** 焦頭、焦威、胸臍、さをもむ、さをもむ、さをもむ  
**せうめい** 詔詞、みことりのり、たふせこと  
**せうめい** 小指、こゆび、手指  
**せうめい** 小斷、ここの、小圃、ここの  
**せうめい** 少時、ちひなきこと  
**せうめい** 肖似、まやかる、たる、による  
**せうめい** 東海林(氏)  
**せうめい** 招子、まひこふた  
**せうめい** 翰子、はん、たまけん

**せうてん**(する)(自) 繕題、まきつ、まきつ、せうてん(小天地人は小天地、マイコロコト云ふなり云ふ、即大天地、マイコロコト云ふ)  
ち宇宙を此五尺の身を以て代表するを謂ふなり  
**せうさ**(名) 少佐(軍人の官にして中佐の下大尉の上の位)  
**せうさ**(名) 小妻、めかけ、妾  
**せうざ**(名) 猶子、ほんぼり、みみはらひ  
**せうざ**(する)(他) 繕殺、やまこつす  
**せうざ**(する)(自) 笑殺、わらひこつす、わらひなや  
(チチ)美人の如く  
**せうざ**(形副) 蕭颯、うらうらよ(風よく音に謂ふ)  
**せうざ**(する)(他) 鈔撮、抄撮、つまみとる、お  
**せうざ** 少吐、わかき、こわわき、おかん  
**せうざ**(名) 小遊、よあそび  
**せうざ**(する)(他) 抄掇、かすめとる、うばふ  
**せうざ**(名) 自儀、にがはにがはち(人の容貌をうつしたる者)  
**せうざ** 少録(古官名、正六位上に相當)  
**せうざ**(形) 蕭索、ものごころ、ただやか

**せうさん**(名) 確酸(硝石の酸化)  
**せうさん**(名) 小産、はんさん(臨月前に子を産むを謂ふ)  
**せうさん**(する)(自) 銷散、さえる、なくなる  
**せうさん**(名) 小蒜、こびる(植物)  
**せうさん**(名) 蕪衫、はせうふ、はせうころも(山間僻地の人等が着る者)  
**せうさん**(名) 小氣(心の狭きを謂ふ)  
**せうさん**(名) 照輝、てりかがやき、びかり  
**せうさん**(名) 箱筈、ゆがき、てる  
**せうさん**(する)(他) 焼燧、やきすてる、焼棄  
**せうさん**(する)(他) 抄記、かきおく、ぬきする  
**せうさん**(名) 稍筈(食か)  
**せうさん**(名) 小意、をみ  
**せうさん**(名) 小服、をみぢやうも  
**せうさん**(名) 鯖魚、くもたこ(動物)  
**せうさん**(名) 消極、陰極(電氣に云ふ所、陰電)  
**せうさん**(名) 鐵色箭の一種(植物)  
**せうさん**(名) 小臭、こじやうと(妻の弟なり)こじやうと(見よ)  
**せうさん**(する)(自) 消却、さえる、きやうせる  
**せうさん**(名) 小種花、ほんでんり(植物)  
**せうさん** 消痰劑、やちしやうり(痰術の藥)  
**せうさん** 少輔(官名にして一省の卿を輔佐す)

せう

せう



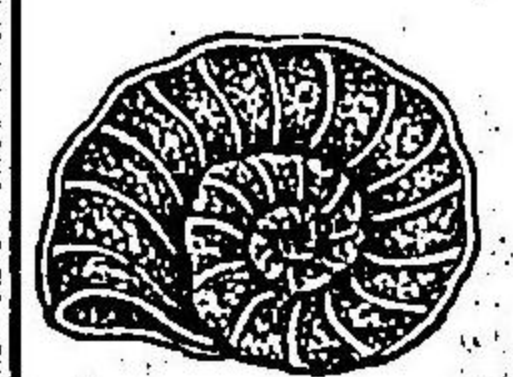


せきた

せきたる(名) 石帯、いしたび
せきたる(名) 赤筋、ながち
せきたる(形) 碩大、たほいなる
せきたる(名) 石炭、花炭、うろ多きはち、はんば
せきたる(名) 赤道、太陽の線路、しやくたう
せきたる(名) 石刀柏、まつばら(植物)
せきたる(名) 赤道直下、せきたるのました
せきたる(名) 赤道祭(軍艦などが赤道直下を航過する時に行ふ一種奇異なる風習にして是赤道の神を祭る者なりといふ)
せきたる(他) 舞臺、かこつける、こまよせ

せきり

せきり(動物) つきせり(へり、むきまきせり、にはくならり(動物)
せきり(形) 寂寥、まびらき、ししか、まびら
せきり(名) 骸骨、こいら、せきり
せきり(名) 赤棘蛇、あじまぐちなほ(動物)
せきり(名) 尺素、てがみ
せきり(名) 碩鼠、おほねずみ
せきり(名) 節季候、歳末の乞食を云ふ
せきり(名) 赤卒、あかさんぼ(動物)
せきり(名) 赤炭、たひ(動物)
せきり(名) 堪足、かたあし
せきり(名) 骸骨、いちまけ、乳類
せきり(名) 石碓、いしうす
せきり(名) 石鏡、げんのう、げんをう
せきり(名) 關根(氏)
せきり(名) 青年、うのかみ、むかし
せきり(名) 石脂油(石油に似たる油)
せきり(名) 石南、いさな、しやくなげ、ほろば
せきり(名) 石螺、いしはま
せきり(名) 一名蛇石と稱す螺
の石に化せし者
(圖の螺石)



せきり

せきり(名) かきかはたか
せきり(名) 石落、つわぶき(植物)
せきり(名) 錫燐、びやくちう
せきり(名) 赤爛、あかたたる
せきり(名) 夕霧、ゆふぎり
せきり(名) 關迎(旅より歸着する人を途中に出迎ふを云ふ)
せきり(名) 積穂、むすぼれる(氣が)
せきり(名) 關口(氏また東京市小石川區内の地名)
せきり(名) 關口町(東京市神田區神田及び小石川區の町名)
せきり(名) 石花、かき(動物)
せきり(名) 石瓜、もくろく(植物)
せきり(名) 石火(石より出る火)
せきり(名) 夕和、ゆふなご
せきり(名) 石灰石、いしはい
せきり(名) 石灰水、いしはいみ
せきり(名) 石柳、いしのからうと、いしのく
せきり(名) 尺蠖、はかりむし、しやくとりむ
せきり(動物)
せきり(名) 石花菜、ころてん(植物)
せきり(名) 石栴、いしひつぎ、いしのくわん
せきり(名) 鱧魚、にんぶつ(自分の屬する

せきり

せきり(名) 石鏡、いしたび
せきり(名) 赤筋、ながち
せきり(形) 碩大、たほいなる
せきり(名) 石炭、花炭、うろ多きはち、はんば
せきり(名) 赤道、太陽の線路、しやくたう
せきり(名) 石刀柏、まつばら(植物)
せきり(名) 赤道直下、せきたるのました
せきり(名) 赤道祭(軍艦などが赤道直下を航過する時に行ふ一種奇異なる風習にして是赤道の神を祭る者なりといふ)
せきり(他) 舞臺、かこつける、こまよせ

せきり

せきり(動物) つきせり(へり、むきまきせり、にはくならり(動物)
せきり(形) 寂寥、まびらき、ししか、まびら
せきり(名) 骸骨、こいら、せきり
せきり(名) 赤棘蛇、あじまぐちなほ(動物)
せきり(名) 尺素、てがみ
せきり(名) 碩鼠、おほねずみ
せきり(名) 節季候、歳末の乞食を云ふ
せきり(名) 赤卒、あかさんぼ(動物)
せきり(名) 赤炭、たひ(動物)
せきり(名) 堪足、かたあし
せきり(名) 骸骨、いちまけ、乳類
せきり(名) 石碓、いしうす
せきり(名) 石鏡、げんのう、げんをう
せきり(名) 關根(氏)
せきり(名) 青年、うのかみ、むかし
せきり(名) 石脂油(石油に似たる油)
せきり(名) 石南、いさな、しやくなげ、ほろば
せきり(名) 石螺、いしはま
せきり(名) 一名蛇石と稱す螺
の石に化せし者
(圖の螺石)

せきり

せきり(名) かきかはたか
せきり(名) 石落、つわぶき(植物)
せきり(名) 錫燐、びやくちう
せきり(名) 赤爛、あかたたる
せきり(名) 夕霧、ゆふぎり
せきり(名) 關迎(旅より歸着する人を途中に出迎ふを云ふ)
せきり(名) 積穂、むすぼれる(氣が)
せきり(名) 關口(氏また東京市小石川區内の地名)
せきり(名) 關口町(東京市神田區神田及び小石川區の町名)
せきり(名) 石花、かき(動物)
せきり(名) 石瓜、もくろく(植物)
せきり(名) 石火(石より出る火)
せきり(名) 夕和、ゆふなご
せきり(名) 石灰石、いしはい
せきり(名) 石灰水、いしはいみ
せきり(名) 石柳、いしのからうと、いしのく
せきり(名) 尺蠖、はかりむし、しやくとりむ
せきり(動物)
せきり(名) 石花菜、ころてん(植物)
せきり(名) 石栴、いしひつぎ、いしのくわん
せきり(名) 鱧魚、にんぶつ(自分の屬する



せじ

務、俗務
せじ 世事また世辭(俗に世事を言ふを云ふは心にも無き表向き挨拶をい語諛の言を呈するなどを謂ふ)
せじ(名) 禪師(僧侶の師)
せじ(名) 引船標、浅水標、みせじるし
せじやう 世上、よのなか、世間
せじゆ(名) 施主、ほごこじぬし、くやうぬし、檀那、檀越
せじめ(名) 俗(他) 命、さる、かすめる、うはぶ(人の命をせしめるなご云ふ)
せじめつ(名) 石淡、漆の一種
せじ(名) 背肉、膈、膜、せなかのし
せじん(名) 世人、よのひと
せび 是非、よしよし、正否、又かならず
せび(名) 臘、せがむ、わごらばす
せび(名) 春餅、せなかのひれ(魚の)
せび(名) 無是非、せんかたなし、しかたなし
せび(名) 春波(鳥獸の料理に云ふ)
せびせ(名) 是非是非、つと、かならず、なんでもかんでも
せせ(名) 施物、ほごこじぬし
せせ(名) 銭、せち、おぼし
せせ(名) 是正、ただす、なほす
せせ(名) 橋、つゝゝ

せん

せん(名) 濼、濼、乗水、竈(人家にて水を流し出すの濼)、せぶ、せりすわ
せん(名) 噴突、あざけりわらひ
せん(名) 噴、(河水の減じて現はれたる砂石を云ふ)
せん(名) 膳所村(近江國滋賀郡に在る有名之地)
せん(名) 膳、せかがむ、せなかがむ
せん(名) 春旗、せなかのすず
せん(名) 仙、やまびと、仙人
せん(名) 千、十、百、をいふ
せん(名) 鏡、せ、に、また、奴、もんめ
せん(名) 鏡、はなむけ
せん(名) 輪、楔、葉子、くち、コロップ
せん(名) 線、すぢ、すぢ
せん(名) 先、せん、せん、せん
せん(名) 専、もつぱら
せん(名) 綿、線、縫、料理にて細く刻みたる者、獨活、線、茶子線など云ふ
せん(名) 穂、穂、けむら、花、鹿、毛、鹿
せん(名) 善、よきこと、よし、よき、よろしき
せん(名) 前、まへ、あき
せん(名) 膳、食、草、食、膳、食、事、の、案、テ、ー、ブル
せん(名) 既、衣、け、せ、ぬ、け、た、り、の、き、もの
せん(名) 纏、ほ、ろ、き、い、と、す、ぢ、ほ、ろ、す、ぢ、草、木、人、等、の)

せん

せん(名) 禪衣、たひつる
せん(名) 禪位、くらわをゆつる(天子が)
せん(名) 専一、ひとむきに、ひたすりに、いちに
せん(名) 占、有、し、める、と、る、に、さ、る
せん(名) 龍引、す、め、る、す、い、き、よ、す、る
せん(名) 仙院、太上皇の御所、仙洞
せん(名) 前陰、まへのもの(陰莖あるひは陰門)
せん(名) 船路、ふなぢ、ふなぢ
せん(名) 船、せ、な、と、も、ふ、ね、の、し、り、
せん(名) 線、路、み、ち、す、ぢ、と、ほ、り、鐵、道、に、云、ふ
せん(名) 錨、い、や、し、き、に、び、ろ、う
せん(名) 騾、馬、は、た、せ、う、ま、(動物)
せん(名) 先輩、としう、の、ひ、と
せん(名) 専、ひ、と、り、う、り、(一人にて専ら営む事)
せん(名) 仙波、仙波、常陸國茨城郡に在る大沼、千波、と、書、く
せん(名) 剪、伐、さ、る、き、り、は、ち、(植木等)
せん(名) 撰、抜、え、り、ぬ、く、ぬ、ら、ぶ
せん(名) 千、羽、鶴、(夏日家の天井に懸け置

せん

せん(名) 蠅、の、せ、を、除、る、紙、に、て、折、り、た、る、鶴、を、い、ふ
せん(名) 鰾、魚、う、を、の、な、(動物)
せん(名) 先方、せん、かた
せんだう(名) 腹、泡、よ、ろ、ひ、い、く、ま、よ、ろ、ひ
せんだう(名) 勝、壁、み、わ、た、す、な、が、め、る
せんだう(名) 自、(腹、) ぼ、ろ、び、た、え、る、じ、に、う、せ、る
せん(名) 仙、杓、羅、漢、松、ま、ま、(植物)
せん(名) 淺、薄、せん、は、か
せん(名) 阡、陌、(道の東西を阡と云ふ南北を陌と云ふ) た、み、ち、は、た、け、み、ち、と、ほ、り
せん(名) 船、舶、ふ、ね、舟
せんだ(名) 雁、法、い、く、ま、の、し、か、た、軍、法、陣、法
せんだ(名) 形、形、影、と、ほ、し、き、す、い、な、き
せんだ(名) 禪、法、ま、ご、り、の、み、ち、(佛法の語)
せんだ(名) 躰、斑、き、り、ふ
せんだ(名) 先、般、せん、ご、う、過、般
せんだ(名) 箭、級、や、ま、す、(矢を射られしめす)
せんだ(名) 先、曉、せん、の、よ、前、夜
せんだ(名) 千、萬、い、ろ、ろ、は、な、は、た、は、は、く
せんだ(名) 先、番、せん、ばん
せんだ(名) 前、晩、まへのよ、まへのよ、の、ばん
せんだ(名) 禪、尼、あま、(女人の僧となりし者の尊稱)

せん

せん(名) 千、日、參、(太陰曆七月十日京都六波羅の祭禮また廿四日雲岩山の祭を然か云ふ)
せん(名) 千、日、岬、千、日、紅、青、積、植、物
せん(名) 千、日、草、(圖の草)
せん(名) 仙、人、羽、人、や、ま、び、と、(長生を保つと云ふ)
せん(名) 山、居、の、神、物
せん(名) 専、任、も、つ、ぱ、ら、つ、か、さ、と、る、こ、と、(事物)
せん(名) 善、人、よ、き、ひ、と
せん(名) 仙、人、衣、胞、衣、そ、な
せん(名) 仙、人、帽、き、ぬ、が、さ、さ、う、(植物)
せん(名) 千、夫、長、千、總、千、人、の、兵、卒、を、率、る
せん(名) 仙、人、嶺、(陸中國開伊那)へいごほりに在る山)
せん(名) 仙、人、草、大、葉、ふ、で、く、さ、(植物)
せん(名) 仙、人、掌、さ、へ、て、ん、(掌をさへて)
せん(名) 仙、人、酒、乳、ち、ち
せん(名) 洗、歩、は、た、し、と、る、き、洗、足

せん

せん(名) 羨、望、う、ら、や、む
せん(名) 腹、淺、う、ち、じ、に、す、る
せん(名) 先、鋒、せん、び、と、先、陣、先、驅
せん(名) 仙、茅、せん、ぼう、(植物)
せん(名) 仙、北、郡、(羽後國の郡の名)
せん(名) 千、本、(氏)
せん(名) 洗、盆、た、ら、ひ
せん(名) 大、丁、草、むらさきたんぼ(植物)
せん(名) 煎、餅、仙、餅、薄、脆、餅、錢、餅、う、す、き、ひ
せん(名) 餞、別、はなむけ、わかれをたくること、送、儀、送、別、祖、道、又、は、な、む、け、の、か、ね
せん(名) 前、表、せん、べ、う、前、兆、まへ、じ、る、し
せん(名) 船、邊、ふなばた、艇、ふなべり
せん(名) 千、遍、ち、た、び、千、回
せん(名) 先、種、せん、ぐ、が、け
せん(名) 前、部、(書翰の前の部にて後部を對す)
せん(名) 全、篇、全、部、全、卷、(書翰の始より終り迄を云ふ)
せん(名) 千、變、萬、化、い、ろ、ろ、に、か、は、る
せん(名) 遷、郡、みやこがへ
せん(名) 先、途、せん、と、の、ち、の、あ、り、さ、ま
せん(名) 先、度、まへのたび、このまへ
せん(名) 船、奴、ふなかた、せん、ご、う

せん

せん

せん

せんじ

せんじ 賤奴、やつこ、いやしきしもへ  
せんじう 仙洞(太上皇の御居處又は太上皇を云ふ)  
せんじう(名) 仙院、脱履、虚舟、上皇、射山、姑射、汾陽、茅明、紫府、丹臺  
せんじう(名) 饒麻、こよち(植物)  
せんじう(名) 戦陣、いくさ、たたかひ、戦争、合戦  
せんじう(名) 先登、いちばんのり(真先に敵城に攻入るを謂ふ)  
せんじう(名) 川棟、たうせんたん、くろせんたん(植物)  
せんじう(名) 船頭舟師、船子、ふなびと、ふねこ  
せんじう(名) 川童、かはわつば、かつば、河童、水虎(動物)  
せんじう(名) 煽動、はやしたてる、たて  
せんじう(名) 千頭柏、せんじゆ(植物)  
せんじう(名) 仙動木、せん(植物)  
せんじう(名) 旋頭殿、せんじう(見よ)  
せんじう(名) 船燈臺(海上に船を導く燈を掲げて航海に便する者)  
せんじう(名) 仙洞御所(太上皇の御居處)  
せんじう(名) 竹葉、くまにんじん(植物)

せんじ

せんじ(名) 箭頭草、つばすみれ、紫花地丁(植物)  
せんじ(名) 占得、しめる、うる、さる  
せんじ(名) 潜匿、ひそむ、かくれる  
せんじ(名) 聖彼得斯堡(露西亞の都府)  
せんじ(名) 專治、專制(一人の才簡にて事を統ぶるを云ふ)、擅制、二壓制  
せんじ(名) 戦地、いくさは、戦場  
せんじ(名) 淺智、あささち  
せんじ(名) 全知、まうたたく、のこらず、無所不知(天帝に云ふ)  
せんじ(名) 織造、つうつう、たぎや  
せんじ(名) 全治、全癒、まうたくなはる(病が)  
せんじ(名) 箭標、はりねずみ(動物)  
せんじ(名) 清女、ちま、かつさめ  
せんじ(名) 仙女女の仙人、やまひめ  
せんじ(名) 交際、かりのぐ  
せんじ(名) 轉機、かくれひろむ、ひをかくす  
せんじ(名) 船中、ふねのうち  
せんじ(名) 線蟲、はりねむし(動物)  
せんじ(名) 鮮密、いけね、いけす  
せんじ(名) 船軸、ふねのへ  
せんじ(名) 煎茶(點茶の名)  
せんじ(名) 船長、ふなびと、ふねのかしら

せんじ

せんじ(名) 戰場、いくさは  
せんじ(名) 禪定(佛法に度中の一)  
せんじ(名) 千丈岳(丹後の加佐郡に在る山、一名大江山と云ふ)をばえやまの下に詳し説く見るべし)  
せんじ(名) 千住町(武蔵國南足立郡の町)  
せんじ(名) 前置詞、まへことば  
せんじ(名) 善知識(僧の勝れたる者)  
せんじ(名) 先陣、さきうなへ、さきがけ(軍旅の)  
せんじ(名) 戦陣、いくさは、たたかひ  
せんじ(名) 千里馬(名馬を云ふ)、駿馬  
せんじ(名) 千里竹、ちりちりの、めだけ、をんなだけ(植物)  
せんじ(名) 神位、しゆつけ、僧  
せんじ(名) 戦標、ななるひする、たぎやする、戦旗、端標、戦旗競走  
せんじ(名) 潜術、ひうめるとつ  
せんじ(名) 川柳(姓は柄井名は八右衛門、俳諧の一派を開きし人)、又わるくちうた  
せんじ(名) 千里光、あはびかひ  
せんじ(名) 草珊瑚(植物)  
せんじ(名) 占領、しめる、うばふ  
せんじ(名) 善良、よき、ようじ  
せんじ(名) 戦略、いくさのはかりごと

せんじ

せんじ(名) 胡面驛、はなぢわう(植物)  
せんじ(名) 千里鏡、ちほめがね  
せんじ(名) 賤奴、やつこ、いやしきしもへ  
せんじ(名) 種抜、くちぬき(瓶の)  
せんじ(名) 染汚、よごす、けがす  
せんじ(名) 淺臥、はうろく、土鍋、瓦釜  
せんじ(名) 仙翁花(植物)  
せんじ(名) 神話(神學の話)、神談  
せんじ(名) 専横、せんじ、わがまま  
せんじ(名) 先王、せんじ  
せんじ(名) 開感、まどはず、もどりたて  
せんじ(名) 仙家、せんじのすまひ、仙屋  
せんじ(名) 泉下、よみぢ、ものよ、黄下、三泉黄泉  
せんじ(名) 線蝦、あみ、ちひさきえび(動物)  
せんじ(名) 扇架、あふまかけ  
せんじ(名) 船殿、ふなうた  
せんじ(名) 賤價、やすね、やすきあたひ  
せんじ(名) 千賀(氏)  
せんじ(名) 全家、いへぢう、閨家  
せんじ(名) 織茶、ちり、すこしばかり  
せんじ(名) 泉海魚、うなぎ(動物)  
せんじ(名) 賤方、ろかた、せんすへ  
せんじ(名) 無詮方、無爲方、せんすへなき、し

せんか

せんか(名) 笠(動物)  
せんか(名) 剪夏羅、ふしころ、がんび、くるまがんび(植物)  
せんか(名) 先考、なまぢぢ、口父、じにたるちぢ  
せんか(名) 賤行、ふみたこなふ、とげる、賤行  
せんか(名) 賤行、すあし、はだし、かちはだし  
せんか(名) 濟幸、このびゆき(天子の)  
せんか(名) 遷幸(時の天子の御遷りを云ふ)  
せんか(名) 線香、たきもの  
せんか(名) 淺香、かうのな(よくなき沈香の蒸物)  
せんか(名) 先講、がまご(植物)  
せんか(名) 銚術、はかり  
せんか(名) 鮮好、あまやか  
せんか(名) 賤仰、あふまかる、やあかる  
せんか(名) 船騎、ふねのな、ふなじるし  
せんか(名) 善巧方便、たぐみなるてだて  
せんか(名) 線香立(線香を焚く器)  
せんか(名) 先行者、さきにゆくもの  
せんか(名) 先覺、さきにまなべるひと、先進  
せんか(名) 仙客、羽客(仙人を謂ふ)、又鶴を云

せんか

せんか(名) 線學、あまがくもん  
せんか(名) 祖學(祖道の學)  
せんか(名) 泉岳寺(東京芝區高輪の赤穂四十七士の墳墓のある寺)  
せんか(名) 前甲、むねあて  
せんか(名) 禪問(太閤の刺殺せる者の稱)  
せんか(名) 船艦、ふね、くまね  
せんか(名) 戦艦、いくさぶね、軍艦  
せんか(名) 扇眼、あぶらのかなめ  
せんか(名) 扇眼、あぶら  
せんか(名) 川岸、かはぎし、かし  
せんか(名) 淺餘、あまなり、よなん、よけい、衍餘  
せんか(名) 借備、やまふ、かかへる  
せんか(名) 船隊、ふなご、ふなご  
せんか(名) 千頭、ちりちりのかたち、萬狀  
せんか(名) 鮮昔、こけ(植物)  
せんか(名) 先代、さきのよ、前代  
せんか(名) 開提(梵語、閉に開して不信と云ふ、佛法に縁なき者をいふ)  
せんか(名) 全體、ううたい、まる  
せんか(名) 前代、まへのよ、前世  
せんか(名) 仙臺、野決明、くさのな(植



せん

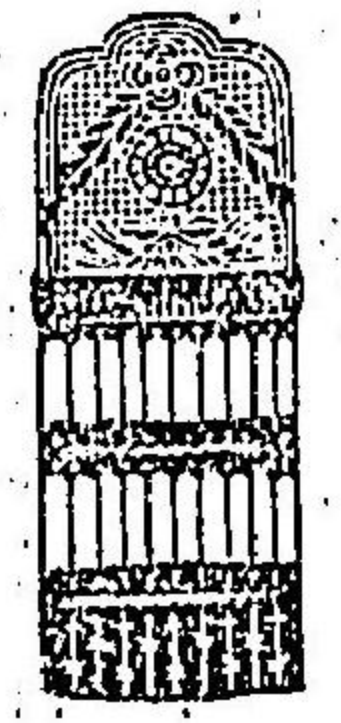
せんたいみん 前代未聞、まへのよにはききき...
せんたいし 仙臺市(陸前國の都會)
せんたいひら(名) 仙臺平(陸前國より出ず所の...)

せんた

せんた(する)(他) 選擇、擺擲、揀擇、えらぶ、ら...
せんた(名) 一する(他) 洗濯、あらいひらひら...
せんた(名) 然諾、うけひくこと、うけがひ、し...

せんぞ

せんざんいた(名) 千壇板、梅壇板、千旦板(鐵の...
せんぞ(名) 先例、まへのしきたり、先規、古格...
せんぞ(名) 洗濯(耶蘇教の禮式)、バプテスマ、...



(一三九四)

せんね

せんねん 專念、いちじにたもふ、たもひこむ...
せんねん 前年、まへのとし、去年
せんねん(名) 朱蕉(植物)
せんねん(名) 千年艾、いねまもぞ、しほかせ...

せんや

せんや(名) 船胸、へなき(船の前頭)
せんや(名) 先驅、先駆、まきのり、前驅
せんや(名) 願殿、あらか、かしくがらぬ...

せんや

せんや(名) 洗濯、あらいひらすり
せんや(名) 煎藥、せんじをすり、湯藥
せんや(名) 先約、まへのやくうく
せんや(名) 願約、たをやめ、あてやか...







すゐり(名) 水輪、みづあし、みづげんくわ

(田にひく水につき)

すゐた(名) 水波、なみ、浪

すゐた(名) 水巴、うづまき、渦

すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)

すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)

すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)

すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)

すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)

すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)

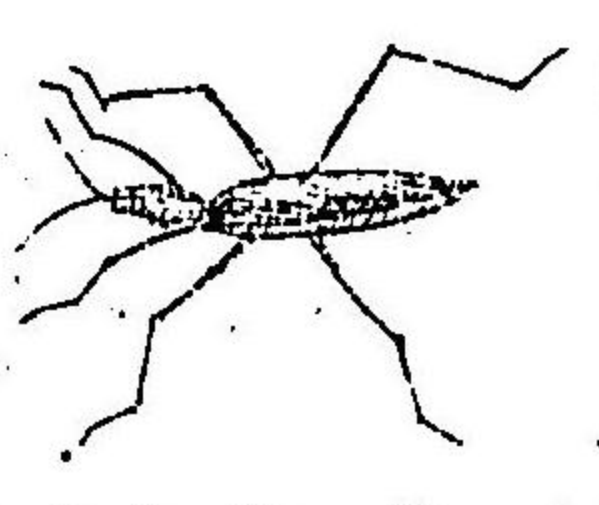
すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)

すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)

すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)

すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)

すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)



(圖の水馬)

すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)

すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)

すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)

すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)

すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)

すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)

すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)

すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)

すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)

すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)

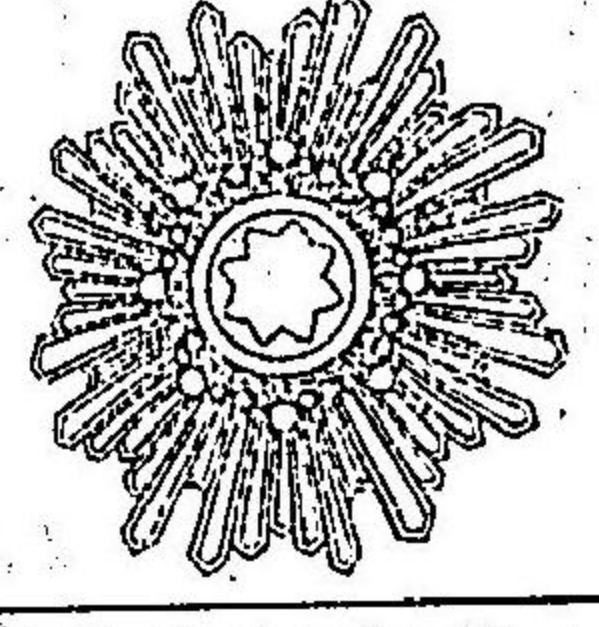
すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)

すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)

すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)

すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)

すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)



(圖の水馬)

すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)

すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)

すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)

すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)

すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)

すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)

すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)

すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)

すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)

すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)

すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)

すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)

すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)

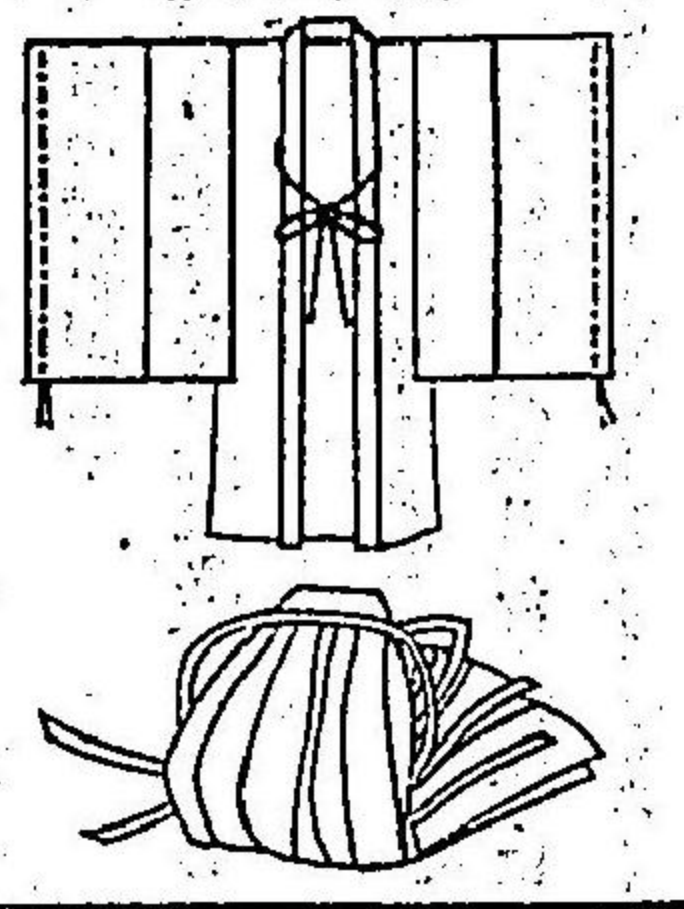
すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)

すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)

すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)

すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)

すゐた(名) 酸模、すかんぼ(植物)



(圖の水馬)









すぢくへんとう 崇徳天皇(人皇第七十五代の帝、紀元二千七百八十四年(西洋紀元一千百二十四年)より一千八百〇二年迄、在位十九年御歳四十六歳にして崩す)

すぢ(名) 筋(身體の) Ⅱ 文紋、すぢめ、Ⅱ 條理、すぢみち、Ⅱ 線、Ⅱ すぢ

すぢりつ(名) 施條砲、すぢつけたるてつばすぢほね 筋骨、すぢをはね、にくつき、にくちひ

すぢぢがひ(名) 轉筋、すぢのりぢがひ(身體の) Ⅱ また不道理、みぢぢがひ

すぢぢやうき(名) 線界尺、すぢひくぢやうきすぢがき(名) 筋書、わけがき、あらしがき

すぢかひ(形) 傾斜、斜線、直進、すぢぢがひ、ななめすぢかひみち 斜徑、ななめのみち

すぢぢほり 周智郡(美濃國の郡の名)すぢぢあひ(名) 理合、わけあひ、りあひ

すぢぢめ(名) 筋目、家系、ちすぢ、Ⅱ 又すぢすぢぢぢ(名) 條理、わけあひ、義理道理、ことわり

すぢ(他) 摺、摩、みがく、研、とぐ、Ⅱ 印刷、はんてい

すぢ(形) 尖、鋭、利、敏、とがれる

すぢ(副) 無遠慮、しかじか(と) 奥へするりと入るなぞ、Ⅱ 遠慮なく入るなり

すぢが(名) 駿河(東海道の國名)すぢが(名) 駿河(東海道の國名)

すぢが(名) 駿河(東海道の國名)すぢが(名) 駿河(東海道の國名)

すぢが(名) 駿河(東海道の國名)すぢが(名) 駿河(東海道の國名)

すり(名) 摺徒、棍徒、ものすりさるぬすびと

すりぢぢぢ(名) 摺盆、しのぼち、研盆すりぢぢぢぢ(名) 砂揷子(動物)

すりぢぢぢぢ(名) 摺針咄、近江國坂田郡に在る山すりぢぢぢぢ(名) 摺袴(花鳥杯の形を青染めにしたる袴)

すりぢぢぢぢ(他) 摺刺、摺刺、すりぢぢぢぢ(名) 摺本、刺本、印本、板本(寫本に非る本)

すりぢぢぢぢ(名) 細繭、めこのまかきといしすりぢぢぢぢ(自) 摺逆、すれてゆきぢぢぢぢ

すりぢぢぢぢ(名) 秤、ぢぢぢぢ(摺皮)、もみぢぢぢぢ(他) 摺落、摺落、こすりさる

すりぢぢぢぢ(名) 後照星、照門、後星(鐵砲の上に施して狙ひを定むる星にて手許の方に位して頂に潤める者を云ふ)、けんたう

すりぢぢぢぢ(名) 摺符衣(花鳥の形を青く染めなせる符衣)

すりぢぢぢぢ(名) 摺團子(餅米にてつくしたる食物)

すりぢぢぢぢ(名) 摺鼓(小鼓を云ふ)

すりぢぢぢぢ(他) 摺付、摺付、こすりつけるすりぢぢぢぢ(名) 摺付木、洋取燈、マツチ、摺杖

すりぢぢぢぢ(他) 摺漬、摺漬、こすりつがすすりぢぢぢぢ(他) 摺刺、被刺、摺刺、すりぢぢぢぢ

すりぢぢぢぢ(名) 摺刺、被刺、摺刺、すりぢぢぢぢ

すりぢぢぢぢ(名) 摺刺、被刺、摺刺、すりぢぢぢぢ

すりぢぢぢぢ(名) 摺刺、被刺、摺刺、すりぢぢぢぢ

すりぢぢぢぢ(名) 摺刺、被刺、摺刺、すりぢぢぢぢ

すりぢぢぢぢ(名) 摺刺、被刺、摺刺、すりぢぢぢぢ

すりぢぢぢぢ(名) 摺刺、被刺、摺刺、すりぢぢぢぢ

すりぢぢぢぢ(名) 摺刺、被刺、摺刺、すりぢぢぢぢ

すりぢぢぢぢ(名) 摺刺、被刺、摺刺、すりぢぢぢぢ

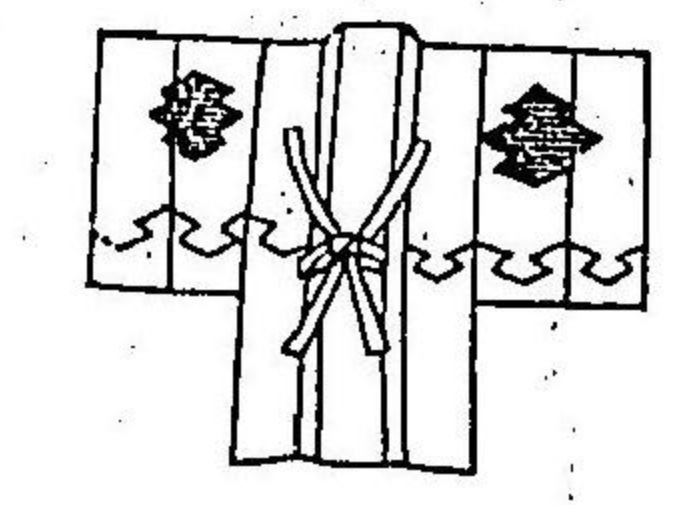
すりぢぢぢぢ(名) 摺刺、被刺、摺刺、すりぢぢぢぢ

すりぢぢぢぢ(名) 摺刺、被刺、摺刺、すりぢぢぢぢ

すりぢぢぢぢ(名) 摺刺、被刺、摺刺、すりぢぢぢぢ

すりぢぢぢぢ(名) 摺刺、被刺、摺刺、すりぢぢぢぢ

すりぢぢぢぢ(名) 摺刺、被刺、摺刺、すりぢぢぢぢ











すけだち

すけだち(名) 助太刀、援刀、援勢、加勢(仇打つ人などを助ぐる事)
すけぞう(名) 助勢(義経の子の類)
すけづ 殿月、あまたつき
すけな(副) 無素業、あつらなく、なげなげなく、つれなく
すげのながさ(名) 蓋笠、すげのかさ笠にて作れる笠なり、二人の婦人蓋笠に面を隠しなごい

すけが

すけが(形) 健、健剛、健勝、たつしや、ぢやうぶ
すけが(副) 頗、ずわかん、たはいに
すけが(形) 凄、ものたうろしき、ものさびしき、凄然、寂寥
すけが(名) 凄味、すびきありさま、ものすびき
すけが(形) 些少、些細、細微、玆少、微少、わづか
すけが(副) 少、いささかも、つゆはなも
すけが(名) 巢籠(鳥の巢に居る者)、ひな、又
すけが(自) 巢籠(鳥が)、(虫が)、すにははる
すけが(他) 過、あまりたはくする
すけが(副) 過海、客寮、うこうこ、いきほひな

すげ

すげ(名) 捨假名、轉假、副墨(漢文の傍の下に附くる字訓)
すげ(名) 捨書、むだがも、偶筆、かきすて
すげ(名) 捨鼓(定まりの数の外に預め取つ鼓の音)
すげ(名) 賤價、すてねたん、ひくやすね
すげ(名) 賤價、やすくうりはらふ
すげ(名) 捨積、はしるまきにまつるむす
すげ(名) 斥賣(代價の高下に係はりす賣るを云ふ)
すげ(副) 既業、はとん
すげ(名) 捨扶持、扶助料、恩給金、養老金
すげ(名) 捨札、獄辭、犯由牌、捨牌、捨榜、罪狀書(刑戮人の)
すげ(名) 棄兒、捨てられたるこ
すげ(名) 捨衣、けき(僧侶の服)
すげ(名) 捨花、しなな、ひがな、ひがな(植物)
すげ(名) 棄物、廢物、うらな、ううちや

すけ

すけ(名) 嬰、女僮、とりもちをんな、とりもちばば
すけ(名) 統腹(統腹の腹の部分の然かいふ)
すけ(名) 寸莖(堅土に混和する瓠屑)、すた、塗壁
麻
すけ(名) 従者、ともびと
すけ(名) 秀才(才の人にもぬけたる者)
すけ(名) 酢菜、すく
すけ(名) 須坂町(信濃國上高井郡の町)
すけ(自) 荒、蕪、あれる
すけ(自) 須佐村(長門國阿武郡及び出雲國飯石郡の村)
すけ(名) 素盞烏尊(天照大神の弟)
すけ(形) 凄然、たがき、すびき、ものすびき、慄慄、廓然、沙冷、荒冷
すけ(名) 洲崎、洲尾、沙嘴、すのではな
すけ(名) 洲崎辨天町(東京市深川區深川の町)
すけ(名) 須崎町(土佐國高岡郡の町)
すけ(名) 遊、愛、慰、なごみ、耽、荒、ふけり
すけ(名) 透、あひだ、すさま、間隙、ひま、てす

すけ

すけ(名) 銀、鉄、鍍、鍍、鍍、鍍
すけ(名) 纏、ちぢのちぢひひも
すけ(形) 酸、すっぱさ
すけ(名) 好、嗜、このみ
すけ(名) 杉、沙木、檜木、相、粘(植物)
すけ(名) 杉井(氏)
すけ(名) 杉板、すぎのきのいた
すけ(名) 空腹、ひもじ
すけ(名) 杉原(氏)
すけ(名) 杉原紙(紙の一種にて大杉原小杉原の別あり)
すけ(名) 活計、なりはひ、生計、生理、生活
すけ(名) 活業、過活、餉口、養口、營業、くらし
すけ(名) 透膠、黃明膠、さらしにかは、水膠、牛皮膠
すけ(形) 過、ふりにし、むかし
すけ(名) 既往、こしかた、郷往、まきつかた、以前
すけ(名) 透通、透明、洞明、透徹
すけ(名) 杉戸町(武藏國北葛飾郡の町)
すけ(自) 過、こえる、快、はりこす、經過
すけ(名) 杉若(氏)
すけ(名) 漣反、反魂紙(古紙をすきかへしたる粗紙)
すけ(名) 鋤柄(氏)

すけ

すけ(名) 好色(好色家の如く見ゆるを謂ふ)
すけ(名) 透影、すびてみるかぎ
すけ(名) 透垣、すしがき、「すしがき」をみよ
すけ(名) 隙風、すきまもるかせ
すけ(名) 杉田(氏)
すけ(名) 杉谷(氏)
すけ(名) 杉板焼(「いなだ」を刺身に作り杉の板の裏に鹽をつくり火鉢へかけ右刺身に醤油つけて其上にてやく料理)
すけ(他) 漣出、こしらへた(紙を)
すけ(名) 周吉郡(隱岐國の郡の名)
すけ(名) 杉菜、天花菜、間荆、つくつくし、接續草(植物)
すけ(名) 杉形(上細く下廣き形)、やまなり
すけ(名) 臨書、臨書、描、杉寫、透寫(紙を上げててうつすこと)
すけ(名) 杉浦(氏)
すけ(名) 杉野(氏)、又越中の地名、相野
すけ(名) 密櫛、こまかきくし、篋、まかし、眞櫛
すけ(名) 數寄屋、茶寮、茶室、ぢやのぢのぢ
すけ(名) 杉脂、すぎのきのやに







すずな

すずなり(名) 鈴成(果實がかたまり結ぶを謂ふ)、蟻結  
すずなり(名) 鈴形、すず  
すずなまり (名) 白 (圖)



すずらん(名) 米蘭、きりかけさう、小茶含笑、か  
すずむ(自) 進前、前進、まへへでる  
すずむ(自) 進前、納涼、送涼、乗涼、避暑、あつさをさます  
すずむ(名) 鈴壘、金鐘壘、月鈴見、金鐘壘、金鐘子(動物)  
すずむ(名) 錫壘種子、すずむん  
すずむ(名) 鈴壘、すずむ  
すずのぞう(名) 鈴壘(善行の時に御道筋を拂ふ爲め鈴を受け取り又還幸の後に返上するを云ふ)  
すず(他) 濯(衣を)、漱(口を)、雙(靴を)、きりひきよむる、うらや  
すず(名) 鈴口、鏝口、すずのくち、鏝口  
すず(名) 王不留行、かさくさ、けまんさう (植物)

すずめ

すずめ(名) 潤滑、すがすがしき  
すずめ(名) 鈴壘(すずのうら)を見よ  
すずめ(自) 煤唾、すずぼる、すずにりま  
すずめ(名) 煤唾、さうた(名) (植物)  
すずめ(名) 珠洲郡(能登國の郡の名)  
すずめ(名) 世、芭蕉、芭世、杜葉(植物)  
すずめ(名) 鈴木、須須木(氏)  
すずめ(名) 鯉(支那國、松江及び本朝出雲の松江に産するもの尤も名なり)ろぎよ(見よ)  
すずめ(動物)

すずめ(名) 鈴木町(東京市神田區駿河臺の町)また京橋區に同名の町あり  
すずめ(名) 蕪尾花、をばな(秋の七草の一)(植物)  
すずめ(名) 藤田(氏)  
すずめ(名) 鈴木田(氏)  
すずめ(名) 芒花、をばな  
すずめ(名) 蕪尾、あらひきよむる(すずめ)をすずめ(名)  
すずめ(名) 蕪、雀、角、瓦雀、雀、こりりの(動物)  
すずめ(名) 進、まへへいたす、蕪、たてまつる、勸、勸告、こころうへる、いさむる、勸、奨励、勸奨、はげます  
すずめ(名) 雀形(被障子の貼附紙杯に雀をすずめ(名))

すずめ

すずめ(名) 丸形に詰きたるを云ふ  
すずめ(名) 雀隱(茅草が雀のかくれる程に長く延びたる時を謂ふ)  
すずめ(名) 馬駒兎、馬駝兎、雀瓜(植物)  
すずめ(名) 海牛魚、うまの(動物)  
すずめ(名) 竹筴(皮竹、楚明竹筴の根より二三尺の間に生ずる箇にして、きくちげの形に似たり)(植物)  
すずめ(名) 雀、すずめのみたひ  
すずめ(名) 地樹梅(植物)  
すずめ(名) 看麥娘、雀麥、すずめのちや  
すずめ(名) 雀、白丁香、すずめくち  
すずめ(名) 雀、こすすめ、雀(動物)  
すずめ(名) 九葉草、烏木、雀粟(植物)  
すずめ(名) 雀、すずめのみたひ、蛤蜊房、蝶金、けむしのまきざら  
すずめ(名) 雀、すずめのみたひ、刺し焼きたる者、れうりのな  
すずめ(名) 細魚、うまの(動物)  
すずめ(名) 雀小舟、雀的、ちひさきゆみ  
すずめ(名) 勸、勸解、勸説、勸告、勸懲  
すずめ(名) 雀、すずめのみたひ  
すずめ(名) 雀、のろし  
すずめ(名) 涼、納涼、すずめこと

すずみ

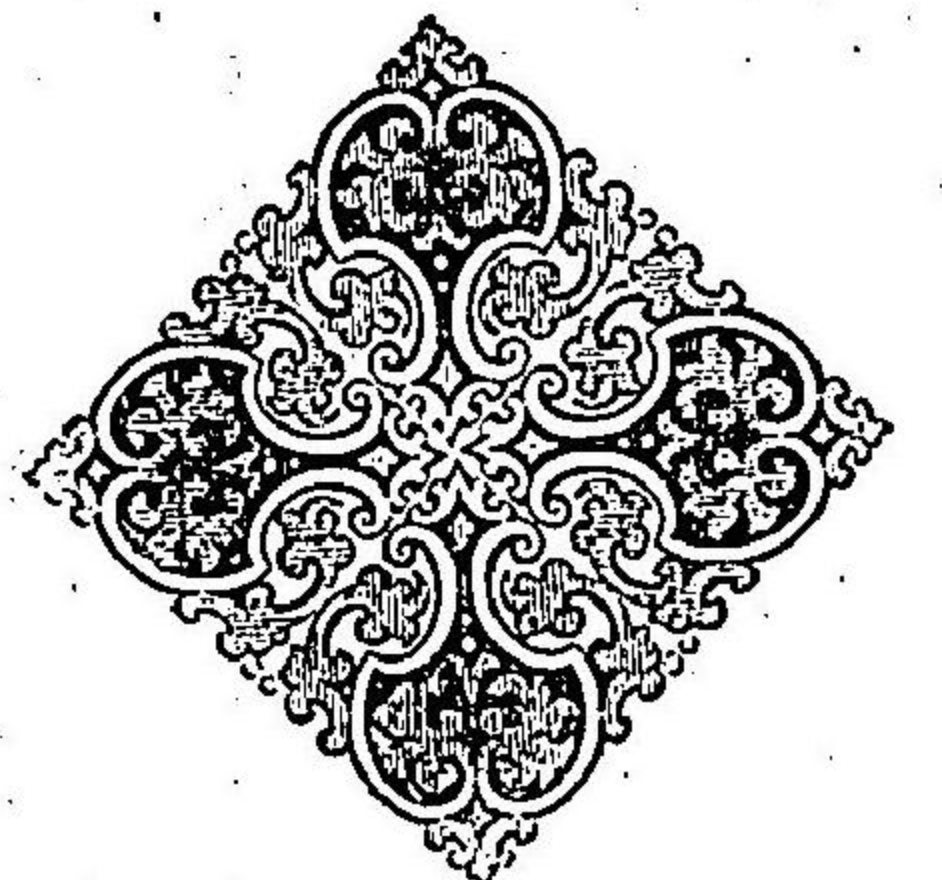
すずみ(名) 涼色(京都福圓町遊廓の女郎藝子が六月納涼の頃色男を携へて派手に河原を連歩くを云ふ)  
すずみ(自) 進出、まへへ出る  
すずみ(名) 清涼、涼室、すずみ  
すずみ(名) 涼室、すずみとこのたひ、涼榻、掃涼  
すずみ(名) 涼榻(大陰曆六月納涼の内京都祇園町の藝子等が同様の帷巾を着る例あり之を涼榻と云ふ)  
すずみ(名) 涼亭、納涼亭、涼軒、すずみちん  
すずみ(名) 納涼舟(夏盛を凌ぐ爲めの小船)  
すずみ(名) 生絹、うすぎぬ、しや、綿  
すずみ(名) 髪(小兒の髪を剃て餘す所を云ふ)  
すずみ(名) 羅扇、水はね、大根、蕨(植物)  
すずみ(名) 涼、清涼、爽涼、あつくあらぬ  
すずみ(名) 絹、きぬ、生絹  
すずみ(名) 煤(物の煤染みてきたるなるを謂ふ)  
すずみ(名) 寸(一尺の十分の一)、十分、ひとさだ  
すずみ(名) 寸陰、すこしのひま  
すずみ(名) 寸白(婦人の腰の病)  
すずみ(名) 寸法、寸尺、たはさま、なごさ、尺  
すずみ(名) 寸上、寸地、すこしのち  
すずみ(名) 寸斗、たいぶ、たくとん

すずみ

すずみ(名) 駿東郡(駿河國の郡の名)  
すずみ(名) 寸思、すこしのまごころ(君王等に對して)  
すずみ(名) 寸暇、寸隙、わづかのひま  
すずみ(名) 寸毫、わづか  
すずみ(名) 寸断、きりきりきり、寸裂  
すずみ(名) 順流(宴席にて杯の順に廻るを云ふ)  
すずみ(名) 寸隙、すこしのひま  
すずみ(名) 寸分、すこし、わづか  
すずみ(名) 寸功、すこしのてがら  
すずみ(名) 寸鏡、わづかのくろがね、すこしのはまの(寸鏡殺人など云ふ)  
すずみ(名) 寸莖、すた(障子に在る物)  
すずみ(名) 從者、ともものひま、すず  
すずみ(名) 直切、すくきり(竹等の)、よこぎり  
すずみ(名) 寸志、寸情、すこしのこころざし(謙遜の語)  
すずみ(名) 寸尺、ものさし、たはさま  
すずみ(名) 寸心、寸志に同じ  
すずみ(名) 寸善、すこしのよきこと  
すずみ(名) 寸善尺、寸善尺(よき事少く悪き事多きを謂ふ)  
すずみ(名) 寸寸、されざれ、つたつた

すずみ

すずみ(名) 駿馬、くんとん(速に進む貌)  
すずみ(名) 雀、すずめのみたひ



### 著作顛末

余曩ニ苦心敢任シ我邦創業ニ屬スル國語大字書ノ著作ヲ計畫シ、即チ漢英對照いろは辭典ニ關スル一切ノ事務ヲ總轄完成シ、幸ニ幾分カ文學社會ニ裨補ヲ與フルヲ得タリ、然レモ此書タル英語ノ對照有ルガ爲メ用途多少狹隘ニシテ未ダ偏子ク世ニ行ナハルルニ至ラザラン事ヲ恐レ、玆ニ體裁ヲ一變シ、英語對照ヲ省キ、更ニ遺漏ニ係レル有用ノ和漢語ヲ補充セシメテ斯ク和漢雅俗ノ部ヲ完成スルニ至ル、而シテ出版回数前後八回一日モ其期限ヲ誤リテ信ヲ江湖ニ失フニ至ラズ、是偏ニ著作者校正者印刷者諸氏ノ勉強注意ト金原氏ノ厚意トニ由レリ、就中今回此校正ヲ擔任シタルハ外島信氏ニシテ日夜孜孜一字ノ誤脱ナカラシメンテ期セリ、余諸氏ニ對シテ深ク之レヲ謝ス、今本書完成ニ際シ猶左ニ漢英ノ部ニ記シタル一篇ヲ掲ゲテ著作ノ顛末ト其微志ヲ明カニス、明治廿二年二月十一日

指折リ數フレバ既ニ四年ノ昔明治十八年ノ秋余偶西洋字書ヲ繙閱シテ慨然感ズル所アリ、謂ヘラク彼ヤ萬事ニ精巧ニシテ爲ス所トシテ輕便利用ヲ極メザル無シ、彼ノ字書タル浩瀚ナラザルニ非ズト雖モ其文字ヲ搜索スルニ至テハ恰モ囊中ノ物ヲ搜ルガ如クニシテ其得易キ事掌ヲ反スニ似タリ之ヲ以テ我國從來ノいろは引節用集ニ比スルニ其便否果シテ如何ンゾヤ、今ハ是一刻千金ノ世ナリ、日夜孜孜文明ノ途ニ奔馳シテ尙日ノ足ヲザルヲ歎ズルノ時ナリ、此貴重時間ニ在テ焉ンゾ此迂遠遲緩ヲ極ムルノ器械ヲ頼ム可ンヤ、今コノ一大要務ハ此文學ノ媒介者タル日本辭典ヲ改良シテ西洋字書ト同一ノ地位ニ立タシムルニ在リ、是ノ如クニシテ始メテ文學ノ隆盛希フ可ク、長足ノ進歩期ス可シト

爾來此思想余カ心裏ニ纏綿シテ去ル能ハズ、如何ニモシテ此思想ヲ貫徹實行セント夙夜苦慮シテ措ク能ハズ、然リト雖モ此事業タル時學金ノ三者ヲ具有スルニ非ザレバ決シテ行ナフ能ハズ、然ルニ余ハ身劇務ニ從事シテ此事業ヲ爲スノ時間ヲ有セズ、又余ハ志學ノ頃國難ニ遭遇シテ充分ノ教育ヲ受クル能ハザリシ故ニ之ヲ親ラズル

學力ヲ有セズ、加之其際兵燹ニ罹リテ家資祿ヲ烏有ニ歸セシメタルヲ以テ之ヲ完成スルノ資力ヲ有セズ、余ヤ既ニ此必要ナル時學金ノ三者ヲ有セズ空シク望ミ懷イテ着手スルヲ得ズ、越テ明治十九年三至至レリ、此年ノ四月十五日余粟屋某氏ト面晤スルノ際偶然氏ノ一言大ニ余カ宿志ニ非常ノ刺戟ヲ與ヘ最早片時モ躊躇スル能ハズ、自ラ力ヲ謀ラズ斷然此創業ニ屬スル至難ノ辭典ヲ著作セント決心シ、則チ分業ノ便法ニ準據シ、第一時間ヲ要スル材料蒐集排列校合等ニ於テハ漢學ノカアリ且ツ正實勉勵ナル横地正邦渡邊精次郎大谷木忠醇小野里平横地寛三郎武田貞雄安川孝吾外島信ノ諸氏ニ托シテ充分之レガ下調ヲ爲シメタリ、第二學力ヲ要スル和漢語又ハ假名遣ヒノ訂正取捨及英語ノ對照等ハ學和漢洋ヲ兼テ番ニ博覽強記ノ譽高ク雷名遠ク歐米ニマテ聞エタル高橋五郎君ニ托シタリ、第三資金ハ余カ僅カニ有スル所ヲ擧ゲテ之ニ投シ原稿粗々成リ將ニ印刷ニ付セントス而シテ資金既ニ竭ク、是ニ於テ小野田元熙氏ノ紹介ト小池太代二氏ノ斡旋トニヨリテ金原明善氏ニ謀レリ、氏ハ熱心ノ愛國士ニシテ公益ノ爲ニハ一身ノ利害ヲ顧ミズ曾テ私財ヲ投シテ天龍河ノ改浚ヲ成功シ、今又巨萬ノ資財ヲ擲チテ山林培養ニ盡カシ、其生育ヲ待テ將ニ之ヲ公益ノ爲ニ獻セントス、是ニ由テ其公益ヲ計ルノ一端ヲ窺フ可シ

金原氏余ノ素志ヲ聞クヤ、深ク其世間ニ有益ナル可キヲ嘉シ抵當ノ多寡有無ヲ論ゼズシテ巨資ヲ投與セラルニ至ル、余ハ常ニ寢遊ノ時間ヲ省減シテ此事業ヲ總轄セリ、蓋シ一事業ヲ爲スニ當リテハ巨多ノ困難前路ニ横ハルガ如キハ數ノ免レザル所ナルガ故ニ此事業ニ於テモ思ヒ設ケザル三舟渡邊督氏ヨリ訴求ヲ受ケシガ如キ數多ノ障礙有リシト雖モ悉ク之ヲ排除シテ遂ニ今日此大事業ヲ完成スルニ至レリ、是皆以上諸氏ノ誠實勉勵ナルニ由ル者ニシテ余カ欣喜シテ止ム能ハザル所ナリ、本書幸ニシテ我邦文學上ニ裨益ヲ與フルニ至ラバ余カ宿志ノ一分ハ既ニ成レリト謂フ可シ、今本書完成ニ臨ミテ此事業ノ顛末ヲ畧叙ス、于時明治二十一年四月十五日丹羽五郎謹識

### いろは辭典發行部廣告

前帝國大學總長從三位勳三等渡邊洪基君題字  
故元老院藏官文學博士正四位勳三等中村正直君原文  
高橋五郎先生著  
增訂二版  
和漢雅俗  
大和假本四冊○辭數凡七拾萬○圖畫五百八拾四○紙數凡一千四百五拾○假本一冊○定價金貳圓四拾錢○郵稅八錢  
金參圓五拾錢○假本一冊○定價金貳圓四拾錢○郵稅八錢

漢英  
照英  
大和假本四冊○辭數凡七拾萬○圖畫五百八拾四○紙數凡一千四百五拾○假本一冊○定價金貳圓四拾錢○郵稅八錢  
五拾錢○假本一冊○定價金貳圓四拾錢○郵稅八錢

寫真  
石版  
極彩色  
大日本帝國勳章圖  
十九通摺極彩色石版○實物局御備圖同一但眞形二分の一○整一尺四寸幅一尺八寸上等洋紙○勳章圖三十三枚章圖八枚總計四十二枚○附錄一冊○定價金五拾錢○郵稅代用若カラザ  
正價廿錢○郵稅○定價金五拾錢○郵稅代用若カラザ

ENGLISH COMPOSITION.  
英文教科書 大本上製四冊  
第一冊 文法 三百三十二ページ 正價金六拾錢 郵稅六錢  
第二冊 教師必携 二百四十八ページ 正價金六拾錢 郵稅六錢  
第三冊 英語用文章 二百二十七ページ 正價金六拾錢 郵稅六錢  
第五冊 作文 二百六十七ページ 正價金五拾錢 郵稅六錢  
英學の指針として學生間に發散せらる、日已に久し實に英文上必携の良書なり  
理科大學教授從四位理學博士菊池大儲先生譯  
正訂 數理解釋 義 大本上製一冊  
紙數五百ページ正價金八拾錢 郵稅拾錢  
本書は英國の大數學者クリフォード氏の名著にして菊池博士の熟慮に翻譯せらるる其の例を以て深遠の數理を解ける恐らくは天下此書の右に出る者なかるべし數理の堂に入りんと欲する諸君は請ふ一覽を賜へ

司法省御藏版  
佛國民法正解 人事編 大本假製二冊  
紙數一千三百餘ページ、正價金壹圓五拾錢、郵稅廿四錢  
本書は佛國有名之テランチヌリ氏の原著にして本編の濫更を免れたるものにて其譯文の發達正確なる等今更喋々を要せざるどころなり法官代官人及法律に従事せらる、諸君は速に一本を購求せらる可し

英國人デニング先生編纂  
JAPANESE DAYS OF JORE BY MR. W. DENNING  
文英 舊日本佳話叢 中本全四冊

和本仕立用紙上等伊豫紙五百五拾一、非常廉價金九拾錢  
第一卷 和仕立用紙上等伊豫紙五百五拾一、非常廉價金九拾錢  
第二卷 和仕立用紙上等伊豫紙五百五拾一、非常廉價金九拾錢  
第三卷 和仕立用紙上等伊豫紙五百五拾一、非常廉價金九拾錢  
第四卷 和仕立用紙上等伊豫紙五百五拾一、非常廉價金九拾錢

英國人デニング先生著  
**豊臣秀吉一代記** 中本全五冊  
和仕立用紙上等伊豫紙五百五拾一、非常廉價金九拾錢

井上勤先生譯  
**魯敏孫漂流記** 大本香車付  
紙數四百拾一、正價金五拾五錢、郵稅八錢

長三洲先生題字

橋爪貫一先生編輯  
**康熙字典** 小本和裝組表  
紙數八百三十一、正價金五拾五錢、郵稅四錢

全國大町村一覽 大本上製  
紙數一千一、正價金八拾錢、郵稅拾錢、第二冊正價八拾錢、郵稅拾錢

全國大町村便覽 大本全壹冊  
紙數二百五十一、正價金三拾五錢、郵稅六錢

大政大臣從二位大勳位三條實美公家額  
文學博士重野安禪先生撰  
故川路大警視公碑文 全一枚

東京和泉橋警察署御編纂  
**警務要覽**  
紙數一千三百四十五、正價金七拾五錢、郵稅八錢

前警視丹羽五郎君纂輯  
**現行法典** 袖珍上製全壹冊  
紙數一千三百四十五、正價金七拾五錢、郵稅八錢

故川路大警視公の御書を掲ぐ  
**寶典** 袖珍上製全壹冊  
紙數一千三百四十五、正價金七拾五錢、郵稅八錢

明治初年以來本年三月まで廿六年間に發布せられたる警察に關する一  
切の法規を網羅し、その條文を、  
○裝訂堅字入最上製、四寸横三寸厚、五分、細字、鮮明、○料紙硬白、  
○裝訂堅字入最上製、四寸横三寸厚、五分、細字、鮮明、○料紙硬白、  
○裝訂堅字入最上製、四寸横三寸厚、五分、細字、鮮明、○料紙硬白、  
○裝訂堅字入最上製、四寸横三寸厚、五分、細字、鮮明、○料紙硬白、

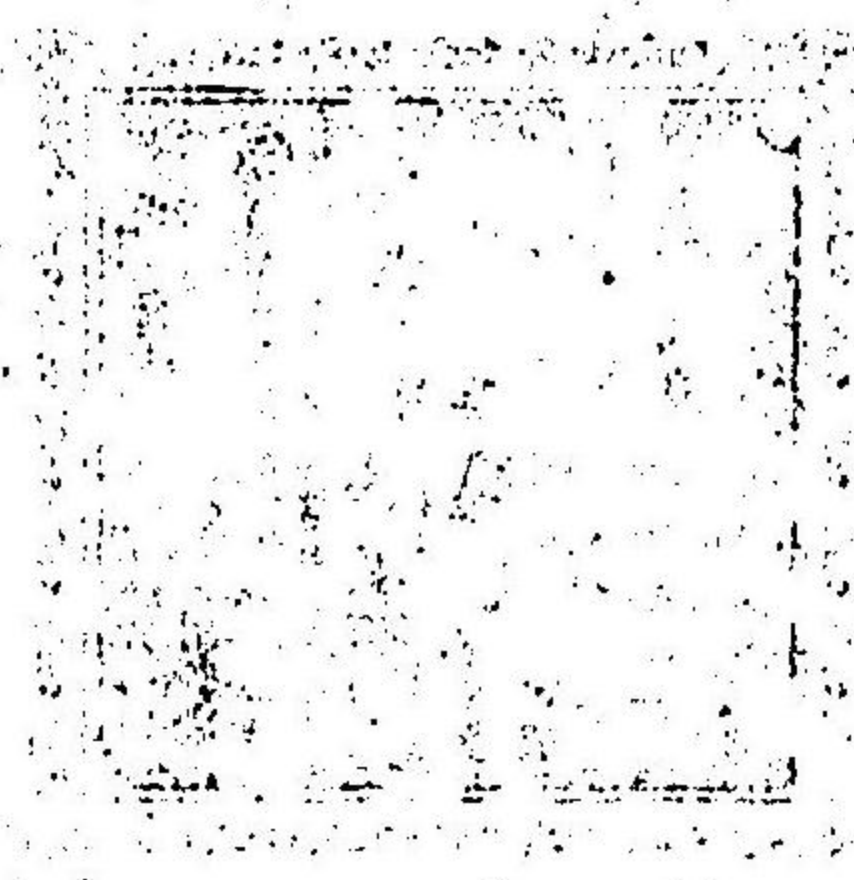
用ひんと欲し、東京にて有名なる築地活版所、國文社、秀英金及機關金等  
に依頼せんとせしむるに、皆文字不足にして、斯くの如き大著書を印刷する能  
はずに於て、止むを得ず本邦に於て未だ曾て實行したることなき眞  
石版の書籍を印刷せんとせしむるに、計畫せり  
抑、洋書に眞石版に於て、第一五號活字を以て、第六寸横四寸に組立  
て、洋紙に印刷し、第二之を、第三寸横三寸に組立て、第三之を、以て法  
則に比し、第四寸に組立て、第五寸に組立て、第六寸に組立て、第七寸に組  
立て、第八寸に組立て、第九寸に組立て、第十寸に組立て、第十一寸に組  
立て、第十二寸に組立て、第十三寸に組立て、第十四寸に組立て、第十五寸に組  
立て、第十六寸に組立て、第十七寸に組立て、第十八寸に組立て、第十九寸に組  
立て、第二十寸に組立て、第二十一寸に組立て、第二十二寸に組立て、第二  
十三寸に組立て、第二十四寸に組立て、第二十五寸に組立て、第二十六寸に組  
立て、第二十七寸に組立て、第二十八寸に組立て、第二十九寸に組立て、第三  
十寸に組立て、第三十一寸に組立て、第三十二寸に組立て、第三十三寸に組  
立て、第三十四寸に組立て、第三十五寸に組立て、第三十六寸に組立て、第三  
十七寸に組立て、第三十八寸に組立て、第三十九寸に組立て、第四十寸に組  
立て、第四十一寸に組立て、第四十二寸に組立て、第四十三寸に組立て、第四  
十四寸に組立て、第四十五寸に組立て、第四十六寸に組立て、第四十七寸に組  
立て、第四十八寸に組立て、第四十九寸に組立て、第五十寸に組立て、第五  
十一寸に組立て、第五十二寸に組立て、第五十三寸に組立て、第五十四寸に組  
立て、第五十五寸に組立て、第五十六寸に組立て、第五十七寸に組立て、第五  
十八寸に組立て、第五十九寸に組立て、第六十寸に組立て、第六十一寸に組  
立て、第六十二寸に組立て、第六十三寸に組立て、第六十四寸に組立て、第六  
十五寸に組立て、第六十六寸に組立て、第六十七寸に組立て、第六十八寸に組  
立て、第六十九寸に組立て、第七十寸に組立て、第七十一寸に組立て、第七  
十二寸に組立て、第七十三寸に組立て、第七十四寸に組立て、第七十五寸に組  
立て、第七十六寸に組立て、第七十七寸に組立て、第七十八寸に組立て、第七  
十九寸に組立て、第八十寸に組立て、第八十一寸に組立て、第八十二寸に組  
立て、第八十三寸に組立て、第八十四寸に組立て、第八十五寸に組立て、第八  
十六寸に組立て、第八十七寸に組立て、第八十八寸に組立て、第八十九寸に組  
立て、第九十寸に組立て、第九十一寸に組立て、第九十二寸に組立て、第九  
十三寸に組立て、第九十四寸に組立て、第九十五寸に組立て、第九十六寸に組  
立て、第九十七寸に組立て、第九十八寸に組立て、第九十九寸に組立て、第  
百寸に組立て、

**購求申込書**

- 一 増訂二版いろは辭典 假製本每回何部、本製本每回何部、
- 一 和漢雅俗いろは辭典 假製本每回何部、本製本每回何部、
- 一 漢英いろは辭典 假製本每回何部、本製本每回何部、
- 一 新日本帝國勳章圖 假製本每回何部、本製本每回何部、
- 一 對照市町村一覽 假製本每回何部、本製本每回何部、
- 一 英文教科書 每冊何部、
- 一 民法正解人事編 第一冊何部、第二冊何部、
- 一 舊日本佳話叢 第三冊何部、第五冊何部、
- 一 豊臣秀吉一代記 每冊何部、
- 一 魯敏孫漂流記 每冊何部、
- 一 康熙字典 每冊何部、
- 一 明治書畫帖 每冊何部、
- 一 何々親王額字 每冊何部、
- 一 全國市町村便覽 每冊何部、



大清宣統元年... 欽此



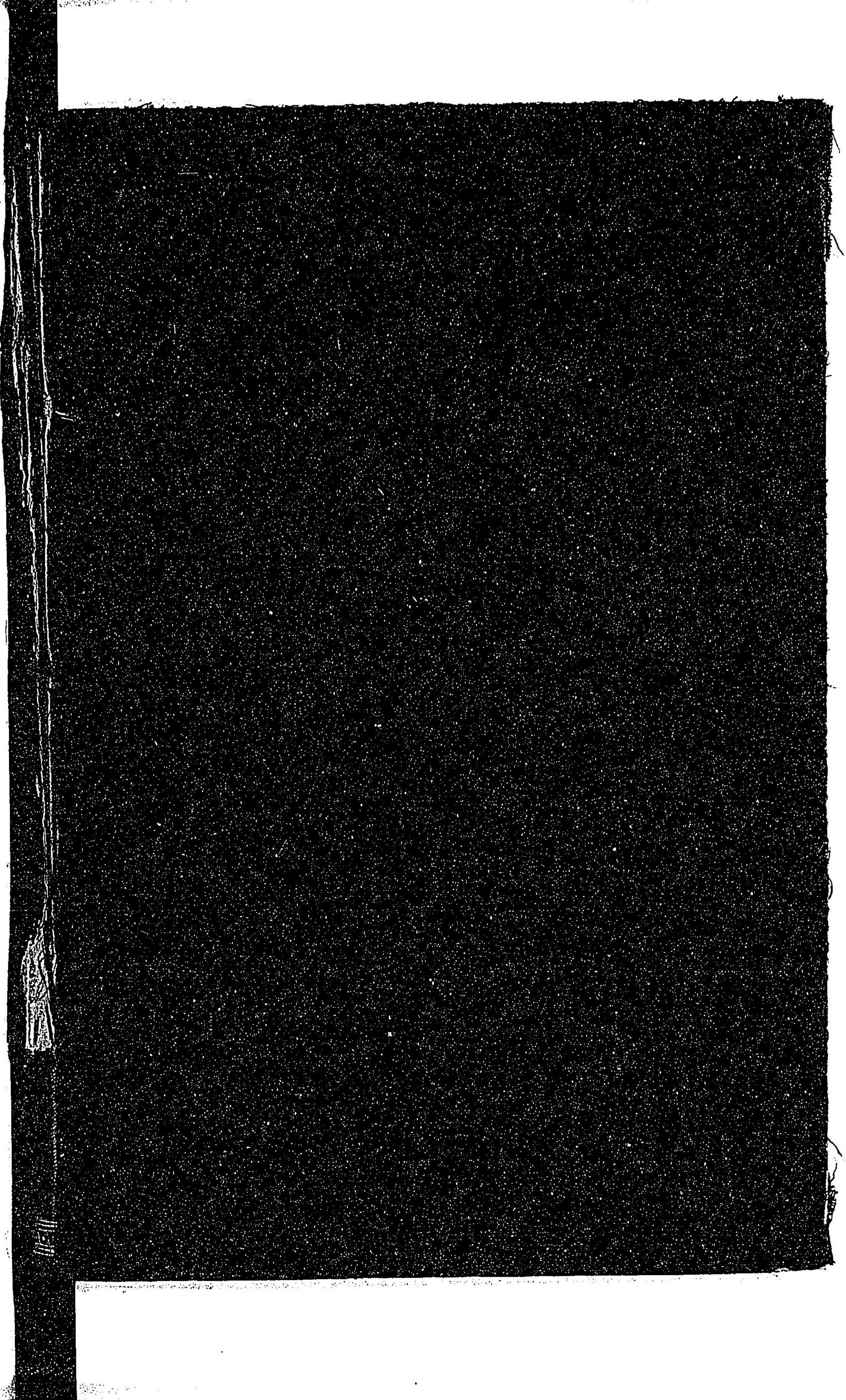
奏為... 奏請... 奏准...

宣統元年... 月... 日

奏准...

20  
90.

12  
0. (1)





20  
906

078218-000-4

20-90

和漢雅俗いろは辞典

いろは辞典発行部

M26.2

DAC-1803



798